

2024 東播地区予選 競技注意事項

- 1 この大会に適用する規則は、2024 年日本陸上競技連盟規則および大会規定によって行う。
- 2 招集について
 - (1) 招集所は雨天練習場に設ける。
 - (2) 招集完了時刻は、トラック競技15分前、フィールド競技30分前とする。
但し棒高跳については60分前とする。
 - (3) 招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
 - (4) 招集の手順
 - ①招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスと競技用シューズの点検を受ける。
 - ②招集時の代理人は認めない。
 - ③2種目を同時に兼ねて出場する場合は、招集所の競技者係に最初の競技の招集開始時刻までにあらかじめその旨を本人が申し出たうえ、所定の用紙に必要な事項を記入し、最初の競技の招集完了時刻までに提出する。
(その際、招集を受けられない競技は原則として代理人を出すこと)
 - (5) 混成競技は、最初の種目(第1日目、第2日目とも)を招集所で招集を受ける。また、2日目の最終種目については、番組編成を行うので招集場で招集を受ける。その他の種目は、現地招集とし、招集完了時刻については上記に準ずる。途中棄権する場合は、必ず総務に申し出る。
- 3 競技について
 - (1) レーン順、試技順はすべてプログラム記載順とする。
 - (2) 個人種目においてイエローカード累積2枚で失格(除外)となり、失格となった種目以後に行われる競技(リレーを含む)に出場することはできない。
 - (3) リレーのオーダー用紙の提出は、次の通りとし、招集場に提出すること。
決勝：招集開始時刻の2時間前から1時間前
 - (4) フィールド競技においては一定の記録に達しない場合、計測しないことがある。
 - (5) バーの上げ方は次の通りとする。(開始の高さについては出場者の実情に応じて設定する)
男子走高跳 1m80 までは、5cm きざみとする。以降は3cm。
女子走高跳 1m50 までは、5cm きざみとする。以降は3cm。
男子棒高跳 3m00 までは、20cm きざみとする。以降は10cm。
女子棒高跳 10cm きざみとする。
 - (6) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。但し、借り上げた後は検査を受けたやりはどれを使用しても良い。検査場所、時刻は下記の通り。
検査場所・・・100mゴール側用器具庫前
検査時刻・・・混成 2日目(5/12) 男子 8:30～8:50 女子 11:30～11:50
女子 2日目(5/12) 9:30～9:50
男子 2日目(5/12) 12:30～12:50
 - (7) 棒高跳用ポールは自己のものを使用するものとする。
 - (8) リレーメンバーのユニフォームは形状を統一する必要はないが、デザイン、配色は統一すること。
 - (9) 競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについては TR5.2 の適用を除外する(三段跳用)。
- 4 県大会出場資格について
 - ・一種目の出場人数 男子…県下で48名、女子…県下で40名(リレー種目・棒高跳・ハンマー投は除く)
 - ・各種目 男子 地区の上位7名+ α (県下で8名) 女子 地区の上位6名+ α (県下で7名)
 - ・出場標準記録 棒高跳・ハンマー投は出場標準記録を設けるが、最低12名とする。
棒高跳 男子 3m00 女子2m00 以上の者は無条件で出場できる。
ハマー投 男子 35m00 女子30m00 以上の者は無条件で出場できる。
三段跳女子(9m板を使用) 地区出場枠に入った者で10m00以上の者とする。
三段跳男子は11m板を使用する。
 - ・混成競技・競歩競技は男女とも出場人数は18名 地区の上位2位、2名+ α (県下で7名)
 - ・地区予選会において DNS・DNF・DQ・NM など、順位をつかいない選手は出場を認めない。(特別枠は除く)
 - ・2023 全国高校総体出場者及び2023 近畿ユース大会優勝者(共にリレーは除く)については、その種目にかぎり県大会への出場権を特別枠で与える。ただし、地区予選会において該当種目に正式出場した場合は、資格を放棄したものとする。(いずれの場合も申し込みは必要である)
 - ・申し込み記録は地区予選会の最高記録を記入する。特別枠選手は前年度最高記録を記入する。
 - ・リレー種目は自由参加とする。